

日本社会福学会関東部会

2018年度 関東地域ブロック研究大会 シンポジウム

ソーシャルワーカーの現状と育成

～ 脚力ある人材として機能するために ～

日時：2019年 3月10日（日）15:00～17:00

場所：駒澤大学 東京都世田谷区駒沢、東急田園都市線「駒澤大学」駅 下車

■ 開催趣旨

現在、わが国がでは「少子高齢社会」が一段と進行する中、家庭、職場、地域社会のあり方が変わり、単身高齢者や生涯未婚者、ひとり親世帯などの社会的孤立者、そして若年から中高年齢層の「ひきこもり」等の「社会的つながりが弱い人（日本学術会議社会学委員会社会福祉学分科会）」が増加している。また、地域では高齢化・過疎化による地域社会消滅の可能性や、都市部での人と社会の関係性の希薄化なども目立ってきている。このような「社会的つながりが弱い人々」への支援や社会的対応は、「生活困窮者自立支援制度」の創出や、地域包括ケアシステムから「地域共生社会」の実現、「社会福祉法改正」などが取り組まれている一方、しばし「ソーシャルワーク」の必要性が広く社会的な声として聞かれる。

今回「持続可能な社会を支える脚力ある人材の育成」という大会テーマを踏まえて、本シンポジウムでは「ソーシャルワーク」を担う「相談援助専門職」として、「ソーシャルワーカー」は今どのような状況にあり、何ができているのか、そして今後どうあればよいのか等、ワーカーが支援する実践分野と、ワーカーを育てる教育分野、また相談援助者としての職能団体（社会福祉士会）からの報告と対応等について、種々の示唆や意見などを図りたい。

.....

■ シンポジウム概要

コーディネーター： 成田すみれ氏（社会福祉法人いきいき福祉会）
シンポジスト： 森田 明美氏（東洋大学）
小川 喜道氏（神奈川工科大学）
荒井 浩道氏（駒澤大学）
中島 康晴氏（日本社会福祉士会）
コメンテーター： 青木 茂樹氏（駒澤大学）

■ 進め方

15:00	開会	
	コーディネーターより企画趣旨とシンポジストの紹介	
15:10	各シンポジストからのプレゼンテーション	15分×4
16:10	シンポジストによるディスカッション	35分
16:45	基調講演者からのコメント	10分
16:55	コーディネーターによるまとめ	05分
	閉会	